



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 SDエンターテイメント株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 河野 正  
 (JASDAQ コード 4650)  
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 吉 住 実  
 電 話 番 号 011-241-3951  
 U R L <http://www.sugai-dinos.jp/>

平成 28 年 3 月 期 通 期 業 績 予 想 と 実 績 値 の 差 異 及 び 特 別 損 失 の 発 生、  
 配 当 予 想 の 修 正 並 び に 役 員 報 酬 の 減 額 等 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 28 年 3 月 期 において、平成 27 年 10 月 22 日 に 公 表 し ま し た 通 期 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異、特 別 損 失 の 計 上 及 び 平 成 27 年 5 月 12 日 に 公 表 し ま し た 配 当 予 想 の 修 正 並 び に 役 員 報 酬 の 減 額 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す の で お 知 ら せ い た し ま す。

## 記

## 1. 業績予想と実績値の差異

(1)平成 28 年 3 月 期 連 結 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 の 差 異 (平 成 27 年 4 月 1 日 ~ 平 成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純 利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,800	460	320	280	31.22
今回実績値(B)	8,198	132	△ 34	△ 94	△ 10.86
増減額(B-A)	△ 602	△ 328	△ 354	△ 374	
増減率(%)	△ 6.8	△ 71.3	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	-	-	-	-	-

(2)平成 28 年 3 月 期 個 別 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 の 差 異 (平 成 27 年 4 月 1 日 ~ 平 成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	400	260	250	27.88
今回実績値(B)	7,292	180	30	△ 55	△ 6.35
増減額(B-A)	△ 708	△ 220	△ 230	△ 305	
増減率(%)	△ 8.9	△ 55.0	△ 88.5	-	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	7,363	322	178	285	33.50

## (3)差異の理由

当期の業績は、シネマ事業及びボウリング事業は比較的堅調に推移しましたが、新規プログラムで上昇を目論んでいたフィットネス事業及び改装休業影響の出たGAME事業が予想を下回りました。また、1年で一番稼働の良い第4四半期において、第3四半期までのマイナスを挽回する目論見でもありましたが、競合店の影響等もあり、対予想比のマイナス幅はかえって増加してしまいました。

利益面では、第2四半期に固定資産除却損等(特別損失 38 百万円)及び第4四半期に減損損失(特別損失 34 百万円)を計上したこと、また、前年7月より子会社とした株式会社フォーユー及びその子会社に関して、主要事業である介護事業・通信テレマーケティング事業ともに、事業立て直し期間中であり、3月によりやく単月黒字転換したものの、損失が拡大したことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想を下回ることになりました。

## 2. 特別損失の計上

平成 28 年3月期におきまして、将来の店舗閉鎖(1店舗)及び土地の評価損(1ヶ所)等に伴う、固定資産の減損損失 34 百万円を特別損失に計上いたします。

## 3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前 回 予 想	—	8円86銭	8円86銭
今 回 修 正 予 想	—	0円00銭	0円00銭
当 期 実 績	0円00銭	—	—
前 期 実 績 (平成 27 年 3 月 期)	0円00銭	13円40銭	13円40銭

### 修正理由

当社は、「株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけており、機動的な利益還元と、経営財務の安定性確保の観点から、当期純利益の水準に応じた業績連動型配当の実施を基本方針とし、配当性向 10%～50%目処とすることを基本方針とすることにしており、当期においては連結業績予想に基づいた連結配当性向 30%を目安に配当額を8円 86 銭とする予定でございましたが、業績予想と実績値の差異に記載したとおり、親会社株主に帰属する当期純損失となり、当社が今なすべきことは内部留保の充実を図り企業体力の増強を図ることであると経営判断し、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。

## 4. 役員報酬の減額

この度の業績の下方修正及び配当の無配を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施いたします。

### (1)内容

代表取締役社長                      現報酬月額より 50%を減額  
 常務取締役                              現報酬月額より 30%を減額

### (2)対象期間

平成 28 年5月支給分から平成 28 年7月支給分までの3ヶ月間

当社は早期の業績回復に向け、一丸となって営業強化に邁進していく所存でございます。

今後とも株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以 上